

# 化学療法プロトコール

申請日： 平成 26年11月6日 申請医師： 遠野 千尋  
診療科： 外科 癌腫： 大腸がん  
実施区分： 入外共通

管理番号	C030110	レジメン名： Bev+mFOLFOX6
1コース期間	2週	総コース数

備考：  
・オキサリプラチンによる急性の神経障害は投与後数日間に出現しやすい。また、遅発性の末梢神経障害は用量依存性である。・オキサリプラチンによるアレルギー症状は初回投与時から出現しやすい。特に6コース以降注意。発現時間は投与30分以内が多い。ペバシズマブ投与初回の投与時反応に注意。尿蛋白2+以上でペバシズマブ休薬。

番号	薬剤名	基準投与量	投与量上限	規格	投与方法	投与スケジュール(day1等)
1	ペバシズマブ	5 mg/kg		自動	点滴	day1
2	オキサリプラチン	85 mg/m <sup>2</sup>		自動	点滴	day1
3	レボホリナート	200 mg/m <sup>2</sup>		自動	点滴	day1
4	5-FU	400 mg/m <sup>2</sup>		自動	点滴	day1
5	5-FU	2400 mg/m <sup>2</sup>		自動	インフューザーポンプ 46時間 5ml/h	day1

備考：

## 実施内容

<p>day1 処方 〈内服〉 臨時 〈4mg〉 テカドロン錠4mg 2錠 朝1錠、昼1錠 ★化学療法翌日より服用 朝 昼 食後30分 2日</p> <p>注射 □外来 化学療法実施 〈1〉 点滴 セリョク(生食) 【100mL】 ●● 1瓶 ★プライミング・ウォッシュアウト用</p> <p>〈2〉 点滴 ペバシズマブ 5 mg/kg セリョク(生食) 【100mL】 ●● 1瓶 ★初回90分・2回目60分・以降30分で点滴</p> <p>〈3〉 点滴 グテセロン点滴静注パック 3mg/50mL [HK] 1袋 【H】 【6.6mg】 テキサト注射液 6.6mg/2mL 1瓶 【H】 テキサト注射液 3.3mg/1mL 1A ★15分で点滴</p> <p>〈4〉 点滴 オキサリプラチン 85 mg/m<sup>2</sup> ブドウ糖注 5%250mL **** 1袋 ★2時間で点滴 ★〈レボホリナート〉と同時に</p> <p>〈5〉 点滴 レボホリナート 200 mg/m<sup>2</sup> ブドウ糖注 5%250mL **** 1袋 ★2時間で点滴 ★〈オキサリプラチン〉と同時に</p> <p>〈6〉 点滴 フルオロウラシル 400 mg/m<sup>2</sup> セリョク(生食) &lt;50mL&gt; ◆ 1瓶 ★10分で点滴</p> <p>〈7〉 抗悪性腫瘍剤持続注入 フルオロウラシル 2400 mg/m<sup>2</sup> セリョク(生食) 【100mL】 ●● 1瓶 ★全量100mLに調整 ★46時間・シユアーフューザー</p> <p>〈8〉 静注 生食注【シリツ】 オツク20mL ◆ 1本 ★ポートフラッシュ用</p> <p>予約</p>	<p>施設予約 外科 時間指定なし 化学療法 外来化学療法</p>
---	---------------------------------------